

駅の安全性向上

列車接近表示装置

お客さまに列車の接近をお知らせします。



ITV(監視用テレビ)装置

見通しの悪い箇所で見降されるお客さまの状況を車掌が監視する装置です。



ITV装置

ホーム異常通報装置

お客さまが転落するなど危険な状況を見つけた際に押すと、乗務員および駅係員に異常を知らせて事故を未然に防止します。



非常通報ボタン

ホーム足下灯

乗降時の転落防止用の照明灯を設置し、注意喚起をしています。

ホーム下待避スペース・ステップ

万一お客さまが転落した場合に安全が確保できる待避スペースや、ホームへ上がるためのステップです。

ホーム転落検知装置

線路に転落したことを検知する装置です。



ホーム転落検知装置

▶ 全駅・全ホームへの「ホーム点字ブロック内方線」の整備

ホーム点字ブロック(ホーム縁端警告ブロック)内方線は、視覚に障がいをお持ちの方が、駅のプラットフォームをご利用になる際、点字ブロックよりホーム中心側に立っているのか線路側に立っているのかを知らせるためのもので、ホーム下への転落事故の防止に効果があります。

当社では、より安全・安心な駅を目指し、平成22年3月末をもって、全88駅・全ホーム208カ所(京都市交通局管理の御陵駅を除く)に設置を完了しています。



ホーム点字ブロック内方線

▶ 戸閉合図装置

駅係員から車掌に列車の扉を閉める時機を知らせる装置で、京阪線13駅に設置しています。ラッシュ時やイベント開催の多客時などに使用され、扉開閉時の事故防止に役立っています。



戸閉合図装置

平成24年度 安全重点施策の目標

駅の安全性向上

ホーム異常通報装置については、平成24年度に国が指導する全ての駅の整備を完了します。また、ホーム改良工事を実施し安全性を向上します。